

# 東 高 懐 古

## 岡谷高等女学校～岡谷高等家政女学校の創立と変遷まで

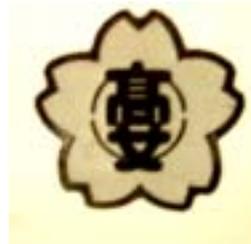
注・.....部分は岡谷高等家政女学校に関連することを示します

昭和11年 岡谷市が誕生  
岡谷高等女学校と改称  
校歌・校章・制服の制定

メモ 校歌の作詞 窪田校長  
作曲 高橋広忠先生(当時 音楽科)

校章 桜の花と岡谷市の市章の中に高女の文字

制服 生徒は昭和7年頃から洋服の制服にするよう要望していた



昭和12年 日華事変

メモ この年の後半の学校日誌には新しく「出征兵見送」「防空演習」「岡谷駅に出征兵遺骨出迎」「戦勝祈願遠足」などの文字が記載されてくる

昭和13年 「集团的勤労作業運動実施に関する件」(文部省通達)  
主知主義教育から実践主義教育への転換

昭和16年 岡谷高等女学校校友会は「岡谷高等女学校報告団」に改称 団長 校長先生

メモ この年12月8日 真珠湾奇襲攻撃により太平洋戦争勃発  
昭和18年6月「学徒戦時動員体制確立要綱」により学校報国隊が組織される  
勤労奉仕は主に増沢工業・浅野航空工業・帝国ピストンリング陸軍兵器補給廠など  
校舎は爆撃の目標になりやすいとのことで迷彩が施された



上写真 配給された標準服を着て防空頭巾をかぶっての通学

下写真 冬の屋上でなぎなたの稽古

昭和16年4月「国民学校令」施行.....

地区で唯一の女学校だった岡谷高女への入学志願者が集中  
女子実業学校設置を望む市民の声が強まる

昭和17年 岡谷高等家政女学校設置(生徒数60名)

昭和18年 学制改革(実業学校の修業年限が2年から3年に延長)

岡谷市の財政困難などにより岡谷高等家政女学校廃止.....

岡谷市立高等女学校の設置(修業年限2年の維持)

昭和20年 防空対策のため、校舎はほとんど取り壊された.....



昭和20年 終戦

メモ 食糧危機とインフレが起こり、学校農園が設置され、山野草を採集しに行くなど対策がとられた。  
獣血試食といって、屠殺場から動物の血をもらってきて乾燥させ、貧血の生徒の栄養剤としたともある。  
この年報告団解散。御真影・奉安殿処置

昭和22年 6・3・3制の実施 新制高校発足を望む声が高まる

岡谷市立高等女学校を高校に昇格するよう嘆願。しかし受け入れられず、岡谷北高等学校として認可。

昭和23年 前年度の新制高校発足により、長野県岡谷高等女学校は岡谷東高等学校に改称  
戦後財政の弱体により、県立外高校は県立移管を強く要望

メモ 当時の日本はアメリカ占領軍により指導されており長野県は長野軍政部の管轄になっていた。  
その軍政部の中で教育部長ケリーがこの年の11月に岡谷北高校を訪れた.....

昭和24年 ケリーの視察・助言により、3月末岡谷北高校を県立に移管し、対等の立場で岡谷東高校と統合が決定